

2007年9月20日

株式会社オールアバウト

オールアバウトのマネー情報誌『あるじゃん』がお金の貯め方を調査

～ やっぱり着実・堅実。目的は「老後の備え」が61.3%、年金を意識？ ～

株式会社オールアバウト(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長 兼 CEO:江幡 哲也、ジャスダック証券取引所、証券コード:2454)が発行するマネー情報誌『あるじゃん』は、All About ユーザを対象にお金の貯め方について調査いたしました。その結果、貯める目的としては「老後の資金」が61.3%と最も多く、貯め方は「積立など一定額を回すようにした」が58.9%とその着実・堅実に貯める様子が明らかとなりました。また今回の調査は、9月21日発売のマネー情報誌『あるじゃん』11月号に一部掲載されております。

調査結果サマリー

1) 年金問題を意識？ 貯蓄の目的は「老後の資金」と「生活費の備え」がともに半数以上

お金を貯める目的としては「老後の資金」が61.3%、続いて「生活の備え」が52.4%となっています。理由としては、年金など将来を不安に思うコメントが寄せられています。

2) お金の貯め方は堅実・着実「一定額を貯蓄に回す」が58.9%

お金を貯める方法は「一定額を貯蓄に回す」が58.9%、「余裕があるときに貯める」が49.1%と続き、投資で増やした人はごく一部(15.2%)のようです。また金融商品も定期預金、普通預金、積立定期など比較的风险の少ない商品が利用されています。

3) 貯蓄をして生まれるのは「心のゆとり」と「次へのステップ」

お金を貯めたことについて8割以上が「良かった」と回答しています。その理由を見ると、貯蓄が「心のゆとり」や「次へのステップ」へとつながるコメントがあげられています。

4) 貯蓄は一部使っても、また貯める。

貯めたお金については、その後、一部使っている人が60.5%と最も多いようです。一部使った人のうち、再び「貯蓄」した人および「さらに増やした」人が97.4%であることから、一度貯蓄を始めると生活習慣となる傾向があることがわかります。

『あるじゃん』編集長 阿部道広のコメント

いわゆる「年金問題」が大きな注目を浴びる中、老後への不安が増大していることを考えると「老後のため」に貯蓄する人が6割を超えた点は予想通りと考えられます。一方、予想以上に多かったのが「生活費の備え」のための貯蓄。回答者は5割を超え、半数以上が老後を迎える前の生活に不安を持っていることがうかがえます。

これには、家計を取り巻く環境が厳しくなっているという背景があります。定率減税の廃止、社会保障費の負担増により手取り収入が減少していくなか、食品や日用品の価格がジワジワと上昇しています。しかし、フリーコメントにも日々の読者からのお便りにも、こうした点を指摘する声はそれほど多くありません。人口減少、格差問題、国内産業の停滞・・・といった問題をかかえる日本の未来に漠然とした不安を感じ、意識する、しないに関わらず、生活防衛に走っているという姿のほうの実態に近いのではないかと思います。

調査概要

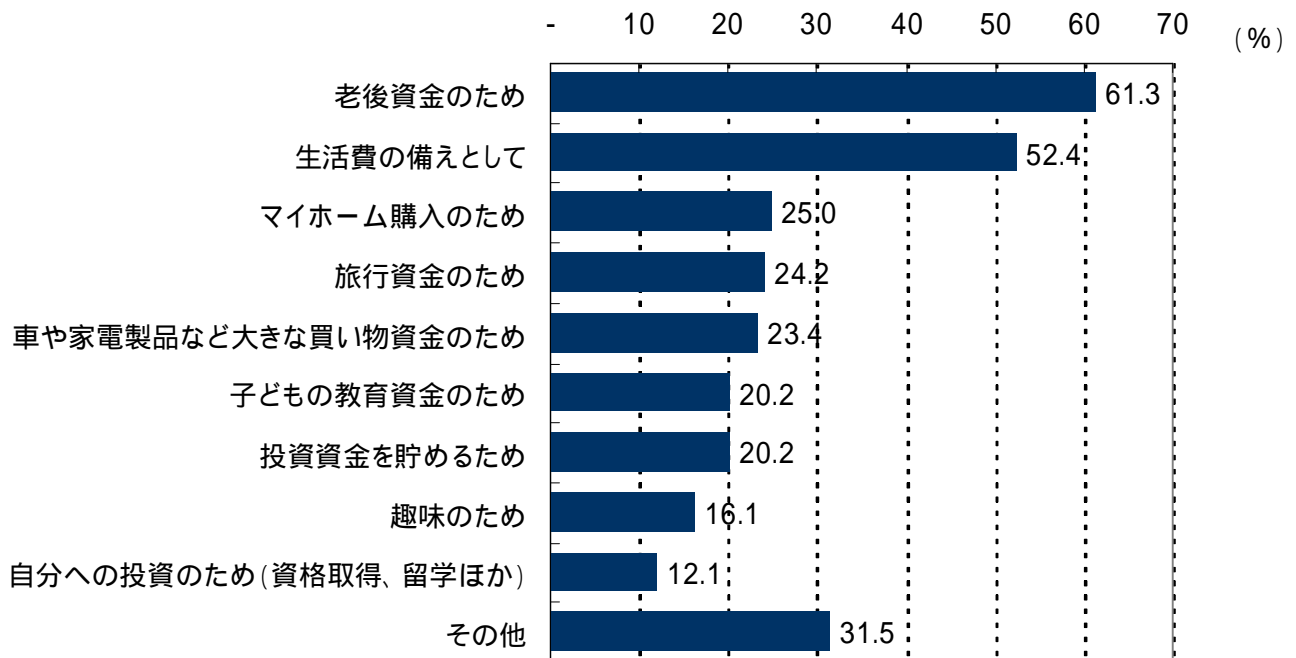
- ・調査期間: 2007年07月18日～2007年08月4日
- ・調査方法: インターネットによるアンケート
- ・調査対象者: All About ユーザ (男性 31.5%・女性 68.5%、平均年齢 39.0 歳)
- ・有効回答数: 124 件

調査結果

1) お金を貯める目的

お金を貯める目的としては「老後の資金」が 61.3%、続いて「生活の備え」が 52.4%と高くなっています。マイホーム、旅行、車などの消費を大きく引き離し、生活するために貯蓄している結果となりました。また、今回の回答者は、平均年齢が 39.0 歳と比較的若い世代にもかかわらず、年金など老後の生活への不安を意識していることが推測できます。

Q. お金を貯める目的は何ですか？ (n=124)



～フリーコメントより抜粋

社会不安(老後の年金の減少)の中、ある程度貯めておくことは心の安心になる【31 歳独身女性】

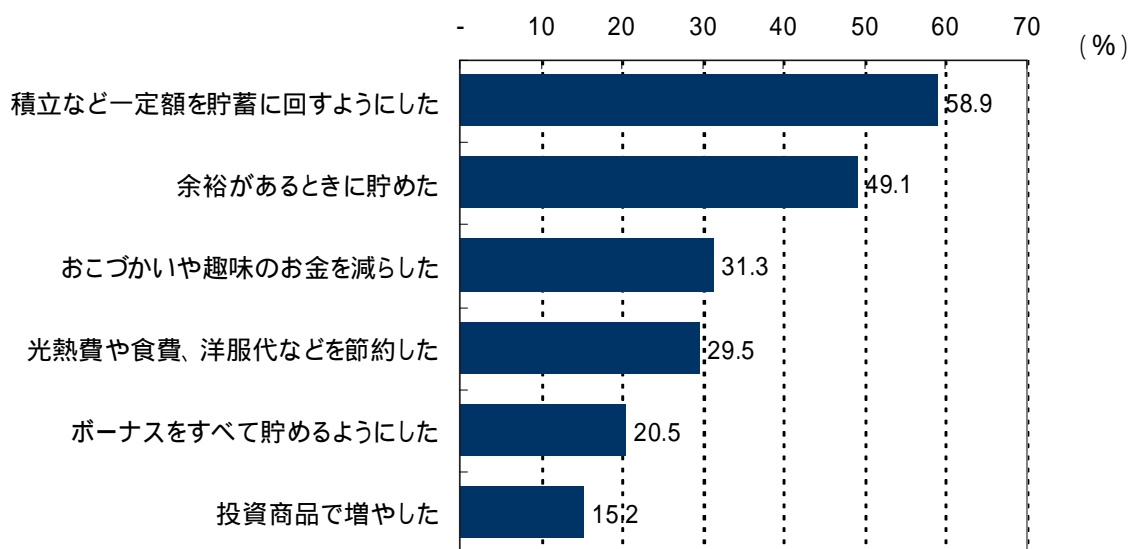
老後資金の少なさに気づかされた【44 歳既婚女性】

(お金を貯めることで)将来への不安が多少、少なくなった【27 歳既婚女性】

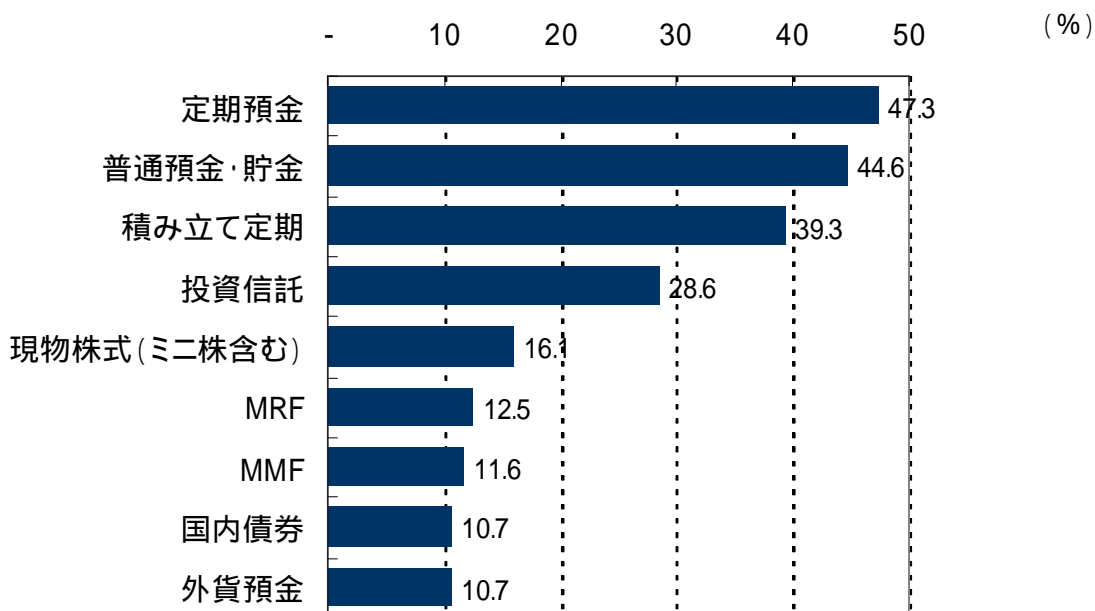
2) お金の貯め方

貯蓄の方法は「一定額を貯蓄に回す」が58.9%、「余裕があるときに貯める」が49.1%と続きます。投資ブームとされていますが、投資で増やした人はごく一部(15.2%)のようで、目的同様に着実に堅実な様子が伺えます。また、金融商品も定期預金、普通預金、積み立て定期など比較的风险の少ない商品が利用されています。投資商品としては、「投資信託」の人気の高いようです。

Q. 貯蓄をするためにどんな工夫をしましたか？ (100万円貯めたことがある人;n=112)



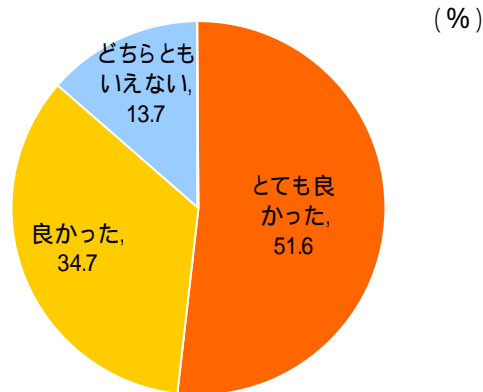
Q. お金を増やしたり貯めたりする際に、どんな商品を利用しましたか？ (100万円貯めたことがある人;n=112)



3) お金を貯めて良かったこと

お金を貯めたことについて「とても良かった」と「良かった」人を合計すると、8割以上が「良かった」と回答しています。その理由を見ると、貯蓄が「心のゆとり」や「次へのステップ」へとつながるというコメントがあげられています。

Q. 実際にお金を貯めてみて、よかったですか？ (100万円貯めたことがある人；n=112)



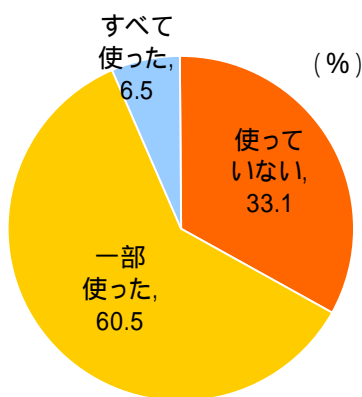
～フリーコメントより抜粋

- 余裕ができる。経済ニュースも結構面白く感じられるようになった【27歳独身女性】
- お金があるとないとでは人生の選択肢が変わる。貯金のおかげで自由度があった【29歳既婚女性】
- 長年の夢であった、庭付き一戸建てを購入できた【31歳既婚女性】
- 投資商品の幅が広がり関心が増えた【35歳独身男性】
- いざというときの自分自身の安心感がある【48歳既婚男性】

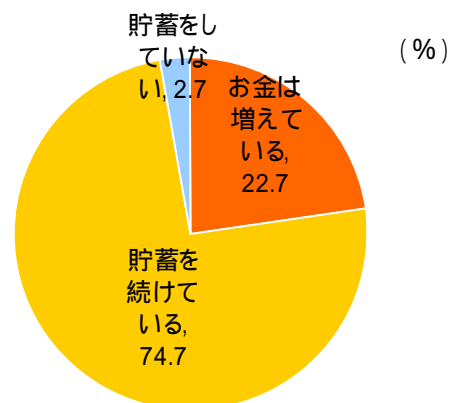
4) 貯蓄の行方

貯めたお金については、その後一部を使っている人が60.5%と最も多く、続いて33.1%が「使っていない」と回答しています。ただ、一部使った人のうち再び「貯蓄」した人や「さらに増やした」人が97.4%であることから、一度貯蓄を始めると生活の一部となり習慣化する傾向があることがわかります。

Q. 実際に貯めたり増やしたお金はどうしましたか
(100万円貯めたことがある人；n=112)



Q. その後貯蓄はしていますか
(貯蓄を一部使った人；n=75)



マネー情報誌『あるじゃん』について

『あるじゃん』は、「5年後に差がつく家族のお金情報誌」をコンセプトに、貯蓄から投資まで、初心者にもわかりやすいお金情報を提供する本です。30代の既婚女性をメインターゲットとし、貯蓄・株・投資信託・保険などのさまざまな金融商品に関する情報を網羅しています。ライフプランをベースに情報提供することにより、家族の末永い幸せに必要な将来の家計設計(マネープラン)を支援してまいります。

媒体名 : あるじゃん

発行時期 : 毎月21日

発行エリア : 全国主要都市、定期購読は日本国内全域

販売場所 : 書店、駅売店、コンビニエンスストア他

定価 : 400円(税込)

編集長 : 阿部道広

発行 : 株式会社オールアバウト

All About について <http://allabout.co.jp/>

株式会社リクルートとヤフー株式会社を大株主とする株式会社オールアバウトが運営、約500のテーマごとに、専門の知識や経験を持った人＝「ガイド」が、その分野に関する情報を提供する総合情報サイトです。2001年2月15日にサイトオープンし、2007年6月には月間のユニーク・ユーザ数が1,600万人を突破しました。独自記事による展開を中心にシステムだけでは到達しない満足度へ“人”が編集・ナビゲートするサービスです。

本件に関するお問い合わせ

株式会社オールアバウト 広報担当:立石・清水

TEL:03-5447-3770 FAX:03-5447-0034 E-mail: pr@im.allabout.co.jp

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 1-19-19